



# CARATS施策の全体の進捗状況について



CARATS事務局  
2020年 3月19日

# 2019年度の主要な活動

## 1. 施策の検討

	件数	概況
1) 重点的に取り組むべき施策 (重点7施策) 【第7回(2017.3開催)設定】	7	「初期的CFDT」の2020年度運用開始に向けた運用方法、また、「航空機動態情報の管制機関における活用」及び「空港における高速大容量通信(AeroMACS)の実現」に向けた検討について、事務局より報告および提案 ※CFDT: Calculated Fix Departure Time AeroMACS: Aeronautical Mobile Airport Communication System
2) 2019年度意思決定(予定)施策	4	3件の導入意思決定、2件の導入意思決定時期変更を事務局より提案(うち1件は施策を分割)
3) 2019年度導入予定施策の フォローアップ	18	OI9施策(データリンクによる継続的な上昇・降下の実現等)、EN9施策(国内における国際標準データ様式の採用等)の進捗確認 ※OI: Operational Improvements (運用改善) EN: Enabler(技術)

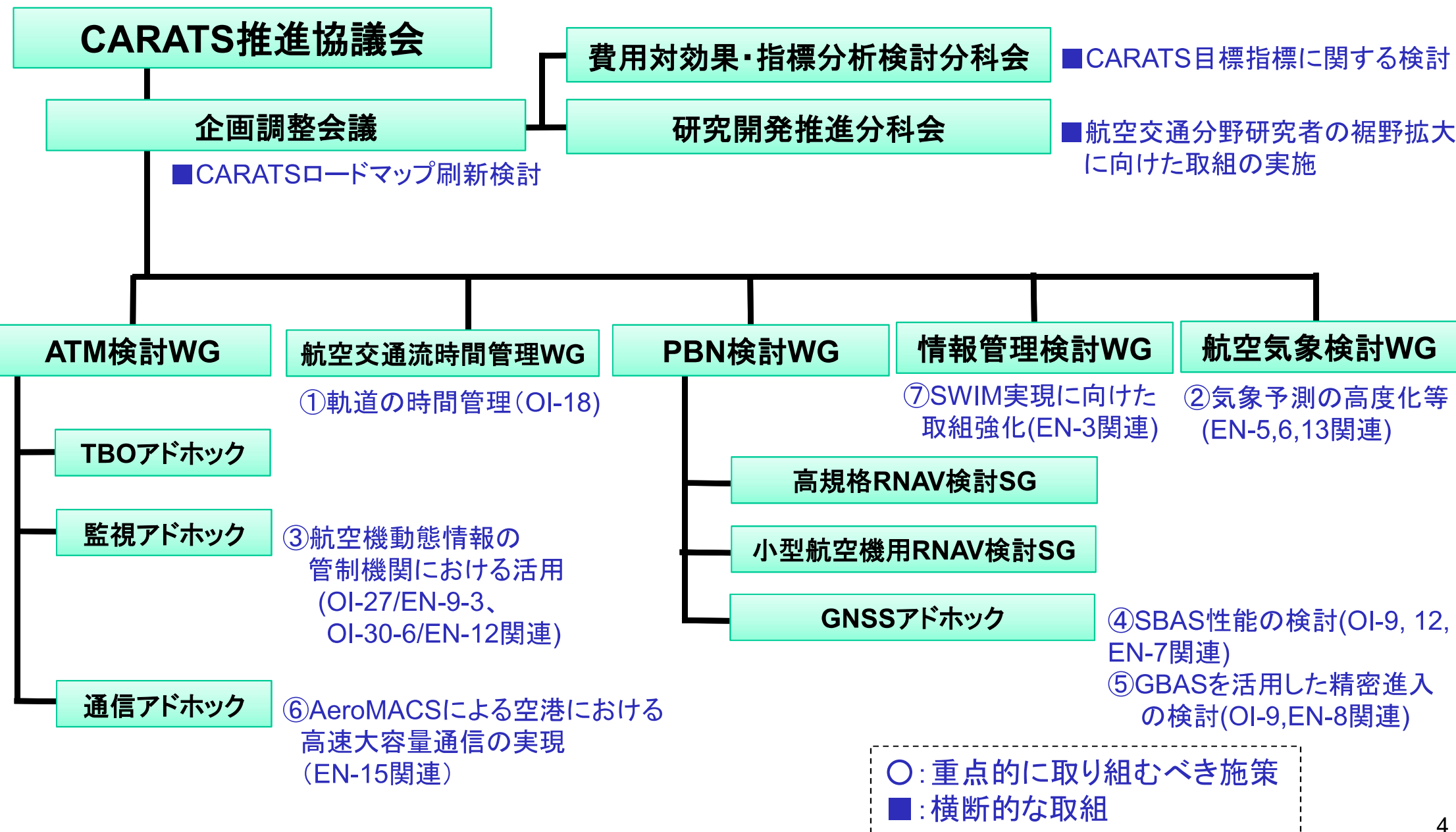
## 2. 横断的な取組

	概況
1) CARATSロードマップの刷新検討	ICAO・欧米動向等を踏まえた施策、ロードマップ及び体制の刷新を検討
2) CARATS目標指標に関する検討	悪化指標(利便性)の詳細分析
3) 航空交通分野研究者の裾野拡大 に向けた取組の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「オープンデータ」拡充、「オープンデータフォーラム」開催</li> <li>・「研究成果の広報・PR資料」のCARATS事務局HPサイトへの掲載</li> </ul>

<p><b>1.2019年度 意思決定 予定施策 (4施策)</b></p>	<p>EN-2 EN-12 OI-30-6 EN-15</p>	<p>&lt;EN:3施策、OI:1施策&gt;            ① データベース等情報基盤の構築【FF-ICE】            ※FF-ICE: Flight and Flow Information for a Collaborative Environment            ② 航空機動態情報の活用            ③ 航空機動態情報の活用を活用した管制運用            ④ 将来の通信装置【AeroMACS(地上業務)】</p>
<p><b>2.2019年度 導入予定 施策 (18施策)</b></p>	<p>OI:9施策 OI-13 OI-14 OI-20 OI-23-1 OI-23-2 OI-26 OI-28 OI-30-1  EN:9施策 EN-1 EN-2 EN-3 EN-4-2 EN-4-4 EN-9-2</p>	<p>①② 継続的な上昇・降下の実現【フェーズ1(データリンクによるCDO(洋上))、CCO】            ※CDO: Continuous Descent Operations、CCO: Continuous Climb Operations            ③ 軌道・気象情報・運航制約の共有【気象情報・運航制約】            ④ 軌道情報を用いたコンフリクト検出            ⑤ 空港運用の効率化【AMAN(STEP1)】 ※AMAN Arrival Manager            ⑥ 空港CDM【首都圏空港への展開】※CDM Collaborative Decision Making            ⑦ 後方乱気流に起因する管制間隔の短縮【フェーズ1・2】            ⑧ 洋上管制間隔の短縮            ⑨ 空対空監視(ASAS)の活用【ATSA-ITP運航】※ASAS: Airborne Separation Assistance System、ATSA-ITP Air Traffic Situational Awareness In Trail Procedure             ①②③④ 情報処理システムの高度化【空域・交通量のシミュレーション(OI-1,3,6)、空域の柔軟運用に対応した交通流予測及び運用支援(OI-3,6)、飛行場面スケジューリング(OI-23)、コンフリクト検出(OI-20)】            ⑤ データベース等情報基盤の構築【国内における国際標準データ様式の採用】            ⑥ 情報共有基盤【SWIM的な対応】※SWIM System Wide Information Management            ⑦ 気象観測情報の高度化【低高度レーダーエコー処理装置】            ⑧ 気象観測情報の高度化【衛星による新たな観測情報】            ⑨ ブラインドエリア等における監視能力の向上【WAM(航空路)】            ※WAM: Wide Area Multilateration</p>

# 2019年度の検討課題と体制(1/2)

## 課題①「重点的に取り組むべき施策」と「横断的な取組」



# 2019年度の検討課題と体制(2/2)

## 課題② 2019年度の意思決定(予定)施策:4施策

